年　組（　）名前　　サイン

日本独自の洋菓子

◆海外では食べられない、私たちにはおなじみのスイーツがあります。

様々な果物をのせ、ゼリーやシャーベットなどがカラフルな層になった「銀座パフェ」＝松本拓也撮影

フルーツパフェ

色彩豊かな果物やクリームがのり、ゼリーやシャーベット、アイスクリームなどが層になったフルーツパフェ。メロンを頬張ると口の中に甘みが広がり、キウイフルーツの酸味も爽やか。一つ一つ食感や味が異なり、飽きさせない。

「フルーツパフェは海外には見られない、日本独自の洋菓子」と指摘するのは、パティシエで、食文化研究家の吉田菊次郎さん。「昭和初期には、アイスクリームと生クリームを使った菓子が作れる環境が整った。その頃、都市部を中心に提供され始めたのでは」と推測する。戦争で洋菓子文化は一時停滞。52年に小麦粉と砂糖の配給統制が解除され、その後、商業用の冷蔵ショーケースが普及し、百貨店の食堂やフルーツパーラーで提供されるようになった。

（2026年9月3日 読売新聞朝刊より）

【1】記事のフルーツパフェに使われている果物の名前をかきましょう。

※先生やおうちの人といっしょに読みましょう。

【2】あなたなら、どのような材料でフルーツパフェを作りますか。絵をうらにかきましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信

2026年 9月 16日

★★★

パスポート　大幅値下げ

年　　組　（　　）　名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆「パスポート」を発行してもらう時にかかる手数料が、今年の夏から大幅に引き下げられました。

パスポート 大幅値下げ

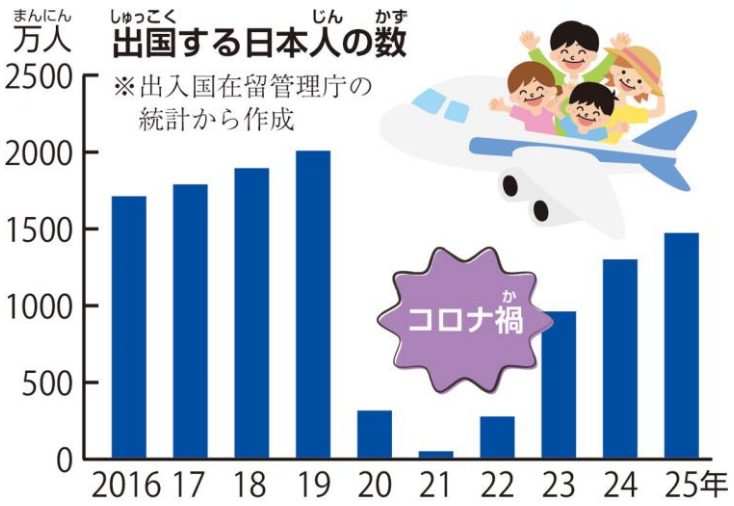
パスポートは政府が発行する身分証明書で、外国に行ったり、滞在したりするときに必要です。

18歳以上の大人のパスポート（有効期限が10年）をオンラインで申請する場合、これまで1万5900円だった手数料が、7月からは8900円になりました。子どものパスポート（有効期限が5年）の手数料は、12歳未満が5900円、12～17歳が1万9900円でしたが、どちらも4400円になりました。

理由の一つが、海外に行く人の減少です。出国する日本人は、2019年に約2008万人でしたが、2025年は約1473万人に減りました。新型コロナのほか、円の価値が下がる「円安」の影響とみられます。

もう一つの理由が、日本を出国する時に支払う「出国税」の引き上げです。政府は、これまで1人あたり1000円だった出国税を、7月から3000円に引き上げました。代わりにパスポートの手数料を下げることで、海外へ出かける人を増やしたい考えです。

10年用（左、赤色）と5年用（黒色）のパスポート



（2026年7月16日　読売KODOMO新聞より）

【1】パスポートとはどのようなものか、記事から読み取って説明しましょう。

【2】政府がパスポートの発行手数料を値下げした理由を書きましょう。

【発展問題】あなたが行きたい海外の国や地域はどこですか。理由と一緒に裏に書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信

2026年 9月 16日

★★★★

欧州熱波　2万人超死亡

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆ヨーロッパはこの夏、猛烈な熱波に見舞われました。猛暑による関連死者数は2万人超に上り、原子力発電所の運転停止や農作物の収穫減など経済への打撃も深刻化しています。

欧州熱波 2万人超死亡

原発停止・農作物の収穫減

■40度超え

西欧では7月末に今年4度目の熱波が襲い、29日には仏南西部ベリスで42・7度を記録するなど、欧州各地で40度前後となった。5月から相次ぐ熱波は、欧州上空で高気圧がふたとなって熱い空気を閉じ込める「ヒートドーム現象」などが要因とされる。世界気象機関（WMO）によると、ドイツやポーランド、デンマークなどで最高気温の記録を更新した。

フランスでは今夏、太陽で熱したフライパンで料理をする行為が流行した。窓際にフライパンを放置し、十分に熱くなったところで、卵やクレープを焼く動画がSNS上で拡散され、挑戦する人が相次いだ。

米インディアナ大の推計によると、6月下旬の熱波が関わる死者数は約2万人に上った。国別ではフランスの約5200人が最多で、ドイツが約4500人、スペインが約3200人と続いた。

■非常事態宣言

南欧では山火事が猛威をふるい、欧州森林火災情報システムによると、フランスでは山林の焼失面積が9万㌶を超えた。マクロン仏大統領は7月27日、著しい被害が発生した南西部ボルドー近郊を視察し、「第2次世界大戦以降で最も深刻な山火事だ」と語った。

スペインでも首都マドリード周辺で大規模な山火事が広がったが、延焼が収まり、30日に非常事態宣言が解除された。一方、ギリシャ・クレタ島などで新たに山火事が発生し、AFP通信によると29日に対応にあたった消防隊員3人が死亡した。現地では地域住民ら約8000人が避難している。

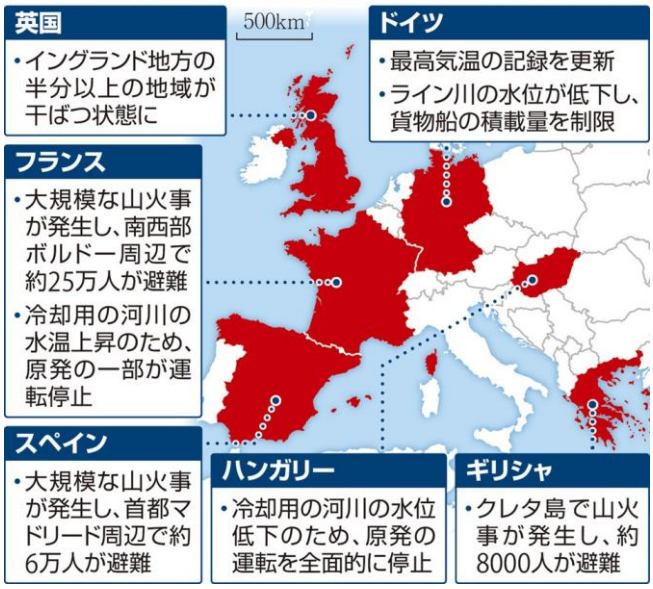
■干ばつ状態

欧州メディアによると、仏電力公社（EDF）は原発の冷却水として使う河川の水温が猛暑で上昇したとして、7月前半に原子炉3基の運転を一時停止した。ハンガリーも河川の水位低下で、原発の運転を全面的に停止させている。ドイツではライン川の水位が高温や乾燥で低下し、貨物船の積載量が制限され、輸送費が高騰している。

英調査研究機関の試算では、6月の熱波による欧州の小麦やトウモロコシなどの穀物生産の減少分は約9000万㌧で、損失は約20億㌦（約3700億円）に上る。英BBCによると、英政府は7月29日、イングランドの半分以上の地域が干ばつ状態にあると明らかにし、農作物の被害悪化の懸念が高まっている。

（2026年8月1日 読売新聞朝刊より）

欧州では熱波による被害や影響が相次いでいる



【1】なぜ熱波がヨーロッパをおそったのか、原因を書きましょう。

【2】熱波によってどのような事態が生じましたか。具体的に書きましょう。

【発展問題】国内の猛暑による被害や影響について調べて、裏に書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信

2026年 9月 16日

★★★★★ 人口集約「外側」で生きる選択肢

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆都市への人口集中が進む中、慶応大教授の安宅和人氏は「都市でしか住めない未来は正しいのか」と疑問を投げかけています。（2026年8月30日　読売新聞朝刊より）

人口集約「外側」で生きる選択肢

国土の４分の３が人口密度50人以下。「疎」のまま未来へ

慶応義塾大学教授　安宅和人氏　58

あすへの考

【都市と限界集落】

産業革命以降、世界の人口は爆発的に増え、日本は1800年比で4・2倍になりました。多くは都市部に集中し、約9割が国土面積の1割弱に住んでいます。地方でも人口の稠密な地域が形成され、私の出身の富山県は県民の3分の2が、1平方キロ・以の人口密度が1000人以上の地域で暮らします。「都会」対「地方」の枠組みでは、問題を捉えきれません。

都市はより良い教育や仕事、充実したインフラ、高度な医療、何より人や文化との出会いがあり、圧倒的な価値を持つ空間です。都市への集中自体は、人間の欲求と社会の発展方向に合った論理的な帰結であり、致し方ないでしょう。

反面、都市以外には広大な空間が残ります。私たちは人口密度が50人以下の土地を「疎空間」と定義しました。国勢調査を基に集計すると、国土面積の4分の3を占めます。人が生き続けられる場としての存続可能性を失いつつあり、消滅しかねない集落は数千を数えます。

政府は人口減少と高齢化に対応するため、コンパクトシティー政策を推進しています。今のインフラや公共サービスの仕組みをそのまま前提にする限り、人口が減った地域では、人を集約する必要があるからです。

水道を例に取れば、人口密度の低い地域を担う簡易水道では1立方㍍あたり1000円を超えることが珍しくない一方、都市の用水供給は100円を下回り、コスト面で大きな差が生じます。財政難の中、コンパクトシティー以外に有望な解がないという現状には100％同意します。

問題は、疎空間が存続できない形のまま残るという点で、解決が先送りされてしまっていることです。集約を進めれば、そこに含まれない「外側」が必ず生まれ、その範囲は決して狭くありません。

都市にしかまともに住めず、疎空間で生きる選択肢がない。そんな未来を残すのは21世紀を生きる者として残念に思います。こんな問いかけから、17年に「風の谷」のプロジェクトを始めました。都市集中型の未来に対するオルタナティブ（代替）です。自然豊かな疎空間が、疎のまま存続・持続可能となった状態を「風の谷」と位置づけました。名前は、宮崎駿監督の映画「風の谷のナウシカ」に着想を得ています。20年に活動母体となる一般社団法人を設立し、景観、森、土木、教育、ヘルスケアなど多様な分野の専門家らが集っています。

風の谷の実現には、金が回る「エコノミクス」、困難や変化に対応する「レジリエンス」、「求心力」と「文化・価値創造」が必要となります。求心力には「三絶」が要件で、一つ目は都市にはない景観価値を示す「絶景」です。自治体の誘いで各地を訪ねましたが、多くは要件を満たしていません。鉄塔と送電線が眼前の絶景を壊している地区もある。風の谷では、景観と融和しない敷設を強力に抑制する仕組みが必要です。二つ目は、安心して暮らせる生活基盤を示す「絶生」で、インフラ、教育機会やヘルスケアの安定的な供給が欠かせません。三つ目の「絶快」は、土地固有の文化や歴史との関わりを通じ、都市では得がたい重層的な出会いと気づきを意味します。

求心力とは、観光客の増加でも若者の流出防止でもありません。世界中から面白い人たちが来たくなる空間をつくり、人の出入りを活性化し循環を生むことです。

「いわゆる『村おこし』ですか」とも聞かれます。施設を作り局部的・時限的に都市化を目指す村おこしは、一過性の取り組みが大半です。「地方創生」も外部資本を入れて人口増を図る発想が多い。疎のまま存続可能性を高める風の谷とは、本質的に異なります。

限界集落が捨てられつつあるのは、日本だけでなく欧州や米国、豪州も同じです。私たちに見えてきた風の谷は、都市という唯一解に向かうとみられた人類の歩みに新たな選択肢となります。最新のテクノロジーを駆使しながらも古来の知恵を尊び、自然との調和を保ち続ける。100年程度では到底終わらず、数百年単位で続くプロジェクトです。私たちを継ぐ世代がそれぞれの疎空間をよりふさわしい形に更新し、次世代へ渡していく。谷は、つくるものではありません。育つものなのです。

あたか・かずと　富山県出身。東大院修士、イェール大で学位（脳神経科学）を取得。マッキンゼーを経てLINEヤフーのシニアストラテジスト。10兆円規模の「大学ファンド」構想の提案や、数理・AI教育の制度作りに関わり、内閣府「デジタル・防災技術WG（未来構想チーム）」座長を務めた。

【1】安宅氏が定義する「疎空間」とは何か、疎空間を持続可能な状態にするには何が必要か、記事から読み取ってまとめましょう。

【発展問題】過疎や限界集落の問題をどのように解決するか、あなたの考えを裏に書きましょう。

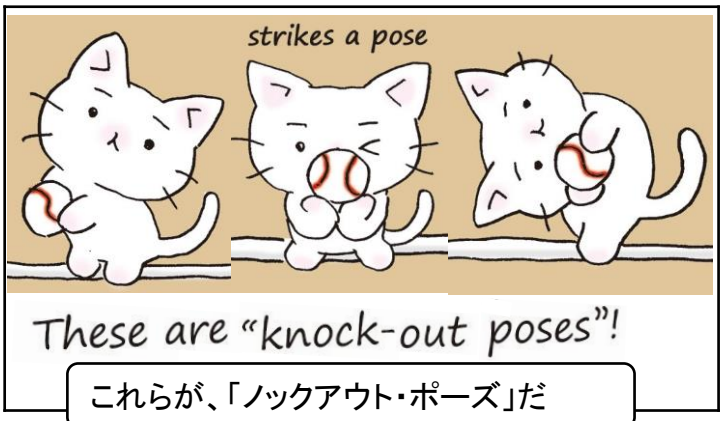
©The Yomiuri Shimbun

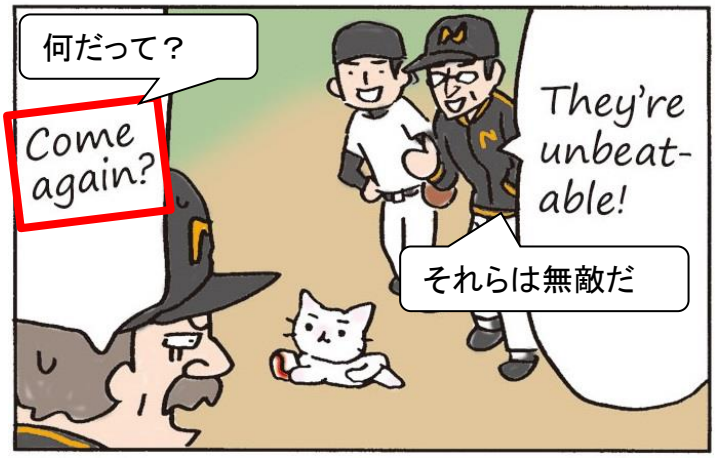
2026年 9月 16日

★★★ <たのしい英語> Come again ?

年　組　（　）　名前

サイン





猫ピッチャー そにしけんじ
Neko Pitcher
Kenji Sonishi (141)

◆マウンド上で愛くるしいポーズを決めるミー太郎。実は、コーチと新たな決め球を考え中だとか。監督はあきれた様子です。

Come again ?

何だって？　もう一度言って。

「また来てね」のほか、気軽に「もう一度言って」という意味で、発音は語尾を上げます。「pardon」は、丁寧な言い方です。

★こんな表現も使ってみよう★

- Say what ?　何て言った？（気軽な表現）
- Could you say that again ? もう一度言って下さい。

単語帳
knock-out：打ち負かす
adorable：かわいらしい　unbeatable：無敵の

★なぞってみよう★

Come again ?

pardon

©The Yomiuri Shimbun